



北陸地方本部

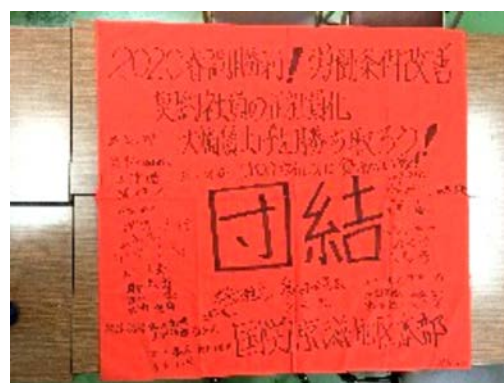
20春闘地本檄布



米子地方本部



岡山地方本部



近畿地方本部

2020年春闘要求に対する JR西日本会社回答への判断について

国労西日本本部は、安倍・自公政権による平和と民主主義、国民生活の破壊を許さず、大企業の内部留保を国民・労働者に還元させる国民的諸課題と全てのJR労働者におけるベアの実施、非正規労働者の正社員化、会社間・労働者間の格差是正と職場要求を結合させて闘いを進めていくことを第40回拡大西日本本部委員会で決定し、全機関でストライキ体制の確立をはじめとして、様々な運動の強化を図ってきた。

安全・安心の職場と鉄道輸送を確立するために職場で奮闘している組合員・社員の労苦に報いるよう、1兆円以上の内部留保金を取り崩し労働者に還元することを求め、闘申7号（賃金引上げ等）、申11号（賃金制度）、申12号（期末手当等）について交渉を強化するとともに、全機関から職場要求の前進と組織拡大行動を取り組んできた。

3月11日の回答では、① 基準昇給については、昨年同様に実施する、② ベースアップは800円の有額回答、③ 年間臨給については、5.38箇月分（夏2.69箇月、冬2.69箇月）、④ シニア社員の基本給に800円（ハーフ480円）加算、⑤ 契約社員の時間給に5円加算、⑥ 初任給調整手当の適用、⑦ 特定診断利用支援金、⑧ 保育所等利用支援金、⑨ 動物遺骸処理等給付金項目を追加する。また別途口頭回答として「運転無事故表彰を全社員対象に見直しについて検討したい」との表明があった。我々は「国労要求や組合員の生活実態から乖離しており本日の回答に対し強く抗議するとともに、持ち帰り検討する」とし、西日本本社に対し全機関から抗議行動を展開してきた。

3月19日に開催した第10回執行委員会において、① ベアについては、800円ではあるが7年連続の有額回答。② 年間臨給等においては、5.38箇月の回答など国労要求からの乖離はあるものの、上記の回答を一部前進と受けとめ、最終回答については不満であるが妥結の判断を行うこととする。

北陸地方本部

20春闘地本行動

3月13日に福井県支部・石川県支部・富山県支部・糸魚川支部がそれぞれの地域で春闘行動を取り組み、総勢39名の組合員が参加した。地域宣伝行動で地方本部作成の春闘ビラなど3600枚

を配布し、春闘要求の実現を訴えた。また、現場長申し入れ、決起集会や組織拡大対策会議などを取り組み、労働条件や職場の問題点、組織強化・拡大について議論を深めた。



岡山地方本部

地域の仲間との連帯として、2月19日は駅頭早朝宣伝・昼休みデモに参加した。3月9日には、街宣宣伝行動を行った。第一支部は、鴨方駅、第三支部は、神辺、駅家駅、そして、地本統一行動として、岡山駅前前で、春闘課題と併せ、憲法改悪阻止、駅の無人化反対等の街頭宣伝活動を行った。

米子地方本部

浜田・松江・米子の各地区において街宣宣伝行動が取り組まれた。「内部留保で大幅賃上げと、日本経済の再生を図れ」「大企業と中小企業、正規と非正規、男性と女性の賃金格差を是正しろ」「最低賃金の引き上げで、だれもが生活できる社会を」など、働く者の力で「20春闘の前進を勝ち取る。」と訴えました。